

## 会議結果報告書

令和8年1月14日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和8年12月24日（水）午後3時～5時
開催場所	志木市役所 中会議室3－1
出席委員	深瀬克委員、新田泰男委員、大木雄平委員、眞保昌弘委員、 巾村和敏委員 (計 5人)
欠席委員	(計 0人)
説明員職氏名	生涯学習課 徳留主幹、野池主事補 (計 2人)
議題	(1) 郷土資料館及び埋蔵文化財保管センター再整備事業について (2) 重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」保存活用計画について (3) 今後保護を進める文化財について (4) その他
結果	(1) について審議した結果、承認された。 (2) について審議した結果、承認された。 (3) について審議した結果、承認された。 (4) について審議した結果、承認された。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 土崎課長、徳留主幹、石川主任、野池主事補

## 審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）郷土資料館及び埋蔵文化財保管センター再整備事業について  
〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 現行の志木市立郷土資料館と志木市立埋蔵文化財保管センターを統合して新施設を整備することであるが、床面積はどのように変わらるのか。

事務局) 統合再整備によって床面積自体は小さくなる。しかし展示スペースは従来と同等の面積を確保できる。加えて資料収蔵庫も可動棚を導入することで収蔵量は増加する。

委員) 特に子ども達の来館を促すために新施設の愛称を検討してはどうか。

事務局) 検討する。

委員) 新施設の職務内容とそれに伴う職員配置についてはどのように考えているか。

事務局) 現在検討中である。

（2）重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」保存活用計画について  
〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 調査研究はどのような方向で行うか。

事務局) 歴史学や民俗学に加え、工学的な調査研究や、保存科学的な調査研究を行っていきたい。

（3）今後保護を進める文化財について

①志木市域の絵馬調査について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 志木市域に現存する絵馬を再度悉皆調査するということでよいか。

事務局) その通りである。

委員) 悉皆調査にあたっては、例えば「大絵馬」と「小絵馬」の区別を明確にするなど、分類の基準を明確にされたい。

事務局) 了解した。

委員) 悉皆調査完了後、指定を含めた価値の整理にあたっては、絵馬を一括することで認められる内容も大切であるが、個別的な内容も大切にしてほしい。

事務局) 了解した。

## ②埼玉タイムスの調査について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

会長) 埼玉タイムスの価値は、戦後の混乱期から高度経済成長期までの社会の動きやそれに対する人びとの対応が生き生きと記録されている点にあるのではないか。

委員) 埼玉タイムスの価値は、創刊号から廃刊号までが散逸なく発行元に伝来している点にあるのではないか。

委員) 前回の会議でも提示された内容だが、審議会で何を審議してよいか不明である。事務局で審議内容を整理してほしい。

事務局) 了解した。

## (4) その他

### ①文化財案内板の修復について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 了解した。

### ②副教材『わたしたちの郷土しき』の修正案について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 今回の副教材の修正案作成にあたって集めた史資料を、中学校で実際に教える教職員に共有できないか。

事務局) 検討したい。

③マイクロフィルム電子化の進捗状況について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) どのような目的でマイクロフィルムの電子化作業を行っているのか。公開についても視野に入れて検討しているのか。

事務局) 資料の保存が目的である。閲覧などの活用は個人情報保護や人権的配慮の上で今後検討していきたい。

#### 4 報告事項

○個人所有文書の所蔵状況について

○「しきし歴史マップ」の修正について

#### 5 閉 会